

今冬の インフルエンザ対策

インフルエンザは感染力が非常に強く、毎年11月～12月頃から徐々に増え、ピークになるのが1月～3月になります。季節性インフルエンザのウイルスには、A/H1N1亜型（平成21年に流行した新型インフルエンザと同じもの）、A/H3N2亜型（いわゆる香港型）、B型の3つの種類があり、いずれも流行の可能性があります。流行しやすい年齢層はウイルス型によって多少異なりますが、今年も全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。大勢の生徒が集まる学校内では、特に注意が必要です。



（厚生労働省：平成25年度(2013/2014)インフルエンザ総合対策について）

風邪とインフルエンザの違いって？



	風邪	インフルエンザ
症状	鼻水やのどの痛みなどの局所症状	38℃以上の発熱やせき、のどの痛み、全身の倦怠感や関節の痛みなどの全身症状
流行の時期	一年を通しひくことがある	1月～2月に流行のピーク。ただし、4月、5月まで散発的に流行することも。

インフルエンザを予防するために

- ★ バランスのよい食事
- ★ 十分な睡眠
- ★ 外出後のうがい
- ★ 石けんを使って、手洗い
- ★ こまめに部屋の換気や掃除
- ★ 部屋の湿度に注意（50～60％）
- ★ 予防接種を受ける
- ★ マスクをする
- ★ 人ごみに行かない
- ★ 早めの受診



予 防 接 種

インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります。インフルエンザはふつうの風邪よりも、重症になりやすい怖い感染症です。

流行が始まる前に接種を済ませておくと安心です。

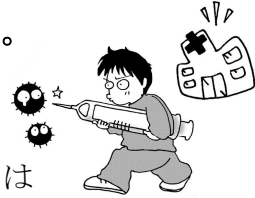




受験生は早めにインフルエンザ対策を!

予防接種のワクチンは、効果が出現するまでに2週間程度を要することから、3年生のみなさんは、受験シーズンの1～2月にしっかりとインフルエンザを予防するのであれば、**11月上旬に接種するのが一番理想的**だと思われます。どんなに遅くても、**11月中には予防接種をうけるように**しましょう。

1年生も、1月末に2泊3日のスキーの宿泊研修があります。できるだけ予防接種を受けておきましょう。また、2年生も12月中旬までには予防接種を受けるようにしましょう。



予防接種を希望される場合は、必ず医療機関に予約の可否について確認してください。

インフルエンザは感染症疾患で出席停止です

★★★病院でインフルエンザと診断されたら、学校へ必ず連絡をしてください★★★

インフルエンザ!?

登校再開はいつになる?



原則 発症後、5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで出席停止です。

発熱 解熱 解熱後 登校可能

発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目

※1 発症日翌日を1日目と数えます。

※2 発症から5日を経過しても、解熱してから2日を経過しなければ登校はできません。

▲症状により学校医、その他の医師により感染の恐れがないと認めたときはこの限りではありません。

2014. 4 / 1 改正